

## 各科の現況と展望

### 第一内科この1年

第一内科医長 田 中 秀 一

#### 【スタッフ】

- ・平成9年1月1日から4月30日まで  
診療部長：赤石直之  
医 長：田中秀一  
医 員：福澤 純、貴田岡亨、斎藤哲也
- ・平成9年4月30日貴田岡亨が遠軽厚生病院循環器科に転勤。斎藤哲也が道立静内病院に転勤。
- ・平成9年5月1日に太田久宣、住友和弘が着任。
- ・平成9年9月30日に福澤純が米国に研究のため留学。
- ・平成9年10月1日に大井伸治が着任。
- ・平成9年10月1日から平成9年12月31日まで  
診療部長：赤石直之  
医 長：田中秀一  
医 員：大井伸治、太田久宣、住友和弘

#### 【疾患別入院患者数】

(平成9年1月1日から平成9年12月31日まで)  
第一内科は4階西病棟(55床)のなかで病床45床(うちCCU3床)を利用している。  
病床利用率は約89%だった。  
疾患別分類は循環器系疾患319人(55%)、呼吸器206人(36%)、腎・泌尿器13人(2%)、その他42人(7%)で合計580人であった。

うち死亡退院は67人(剖検1名)だった。

#### 【CCU】

平成9年1月1日から12月31日まで入室患者延べ数は66人。

#### 【急性心筋梗塞患者】

平成9年1月1日から平成9年12月31日までに診療した急性心筋梗塞患者は36人。

#### 【その他】

平成4年9月24日にシネアンジオ装置で第1例目の冠動脈造影検査をおこなってから5年3ヶ月で、平成9年12月17日にちょうど1000例目の冠動脈造影検査をおこなった。

平成9年1月1日から12月31日までには冠動脈造影検査を含む心臓カテーテル検査は228件行われた。

待機的PTCAは18人、冠動脈内ステント移植術は12人に行われた。

徐脈性不整脈に対する一時的体外心臓ペースングは10人に行った。

永久ペースメーカー移植術は合計11人に行われ、内訳は新規10人、交換1人であった。